

# まちづくり協議会ニュース

創刊号 令和5年7月

## 学研高山地区南エリアまちづくり協議会が設立されました！

「学研高山地区南エリアまちづくり協議会」の設立総会が令和5年5月20日（土）午後14時より、北コミュニティセンターISTAはばたきにて開催され、正式に発足しました。

設立総会には、地権者（代理人含む）28名が出席（委任状52名）し、生駒市長の挨拶のあと議案について審議し、賛成多数で承認いたしました。また、立命館大学上席研究員村橋正武様をお招きし、「次世代につなぐ進化するまちづくり」をテーマに記念講演をいただきました。

### 開催概要

1. 市長挨拶
2. 設立経緯の説明
3. 議長選出
4. 議事
  - 第一号議案 規約について
  - 第二号議案 活動内容
  - 第三号議案 役員の選任について
5. 講演  
立命館大学 上席研究員 村橋正武氏「次世代につなぐ進化するまちづくり」



### 南エリアまちづくり協議会会長 山本利昭氏によるあいさつ

これまで様々な関係者の協力ならびに皆様の賛同があり、今日まちづくり協議会を設立することができました。

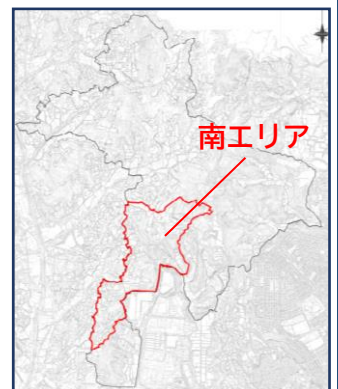
現在、工区内には手入れの行き届いた里山とは程遠い状態の場所があり、このままの状態では次世代に引き継いではならないと感じています。

これからは色々な世代の地権者達が積極的に意見を出し合い、より具体的なまちづくりに向けスピード感をもって取り組む必要があります。しかし、自分たちの利益ばかり主張してはいけません。人のために思い、近江商人の考え方に倣い「売り手よし、買い手よし、世間よし」の3方よしのまちづくりを合言葉に皆が満足し、そして次世代につながるまちにしていかなければならないと思います。今後も皆で協力し、会としてもより良いものにしていくためにも、関係者皆様のご協力よろしくお願いたします。



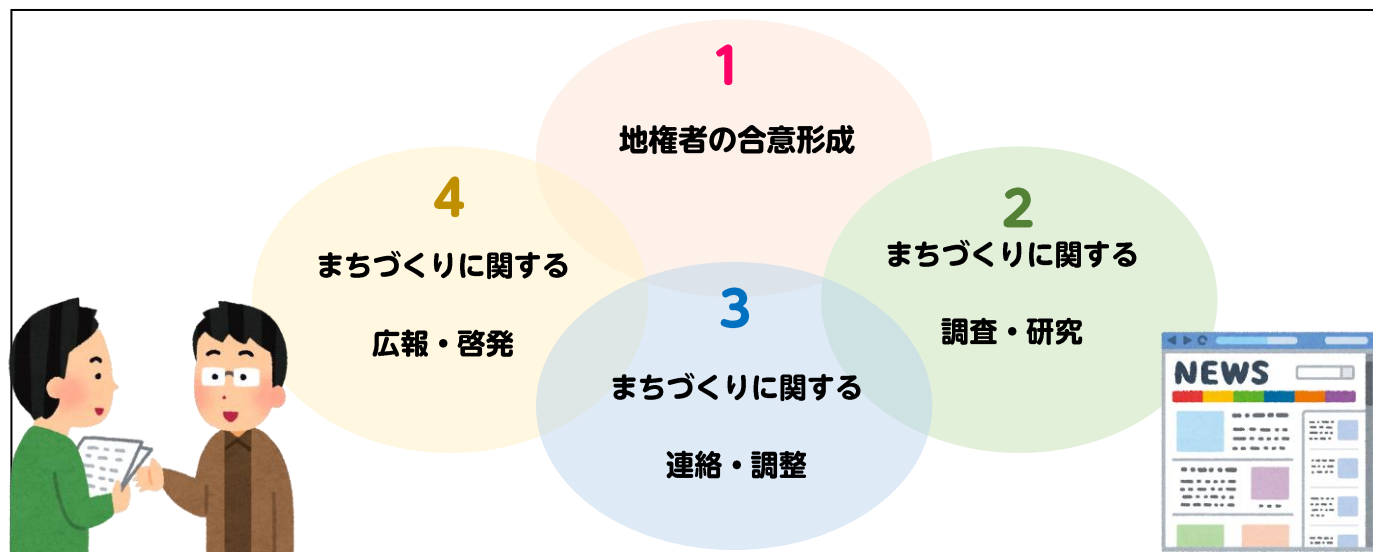
### そもそも、学研高山地区南エリアまちづくり協議会って？

本協議会は、学研高山地区第2工区全体のまちづくりに波及する大きな一歩となるよう、まちづくりの先駆けとして設立した組織であり、先行個別地区である南エリアの地権者が中心となって構成されています。本協議会の目的は、地権者の意向集約・合意形成を図り事業化に向けた検討などを行うことにより、先行個別地区（南エリア）におけるまちづくりを推進していくこととしています。



# まちづくり協議会の活動内容

学研高山地区南エリアまちづくり協議会の活動内容は大きく分けて4つ！



## 具体的な取り組み内容

👉 例えばどんなこと？

### 1 地権者の合意形成

☑土地活用等に関する意向把握

住宅用地や産業用地の大きさを決める根拠として、地権者ご自身の土地を今後「売りたい、貸したい、自分で土地活用したい」や、またその土地利用について「住宅や農業、企業用地」などの意向を再度お伺いします。

### 2 まちづくりに関する調査・研究

☑土地区画整理事業等まちづくりについて、理解を深めるための勉強会

☑先進地の事例調査

南エリアまちづくり協議会における役員会や総会において事業に対する勉強会の開催などを行い、地権者の意識醸成に努めます。

### 3 まちづくりに関する連絡・調整

☑学研高山地区第2工区地権者の会との連携  
☑事業アドバイザーや立地等検討企業との連携  
☑学研高山地区第2工区事業推進会議との連携

全体地権者の会や事業アドバイザー、事業推進会議等と連携し、意見やアドバイスをいただきながらまちづくりを進めます。

### 4 まちづくりに関する広報・啓発

☑まちづくり協議会ニュースの発行・配布  
☑ウェブサイトを活用した情報発信

事業の進捗などについて HP やニュースを活用し、広報・啓発に努めます。

## まちづくり協議会の役員構成一覧

学研高山地区南エリアまちづくり協議会設立総会において、会員の賛成多数により正式に役員が決定しました。第1回役員会では、役員間での互選により会長・副会長・運営委員が選任されました。まちづくり協議会の役員一覧は以下の通りです。

会長	山本 利昭
副会長	久保 幸作
	生 駒 市 (副市長 山本 昇)
運営委員	稲垣 武司
	中田 忠彦
	西井 久之
	松山 治幸
	村田 卓司
	※順不同

## まちづくり協議会の年間スケジュール

5月	まちづくり協議会設立総会 <第1回役員会> ・会長及び副会長の互選について
6月	<第2回役員会> ・協議会ニュースの発行について ・意向調査の内容について
7月	協議会ニュース創刊号の発行 地権者意向調査の実施
8月	<第3回役員会> ・勉強会について ・意向調査結果について
9月	協議会ニュース第2号の発行 地権者意向調査の結果周知
10月	<第4回役員会> ・まちづくり基本方針について
12月	<第5回役員会> ・まちのデザインについて
2月	<第6回役員会> ・準備組合設立について

南エリアの地権者を対象にアンケートなどを行い、役員会や事業アドバイザー等と連携しつつ、今年度はまちづくりの基本となる計画を作成します。

この基本となる計画をもとに、準備組合設立に向けて再度南エリア地権者へ意向確認を行います。ここでは全地権者の内、**9割の仮同意**を目指します。

# 生駒市長 小紫 雅史氏 によるあいさつ

本日は、学研高山地区南エリアまちづくり協議会の設立おめでとうございます。  
今後の生駒市政においては、ベッドタウンではなく市内で働けるそして楽しめる、そんな場所を作っていくことが生駒市のこれからの発展につながると考えています。学研高山地区第2工区のまちづくりは、この方向性を定めていく上で非常に重要な拠点でもあり、政策の中心になっています。また、地区周辺には奈良先端大をはじめとして、農業、伝統工芸、文化、観光、自然など様々な要素があります。これらの要素と連動しつつ発展させていく事を考えていく必要があります。  
本日の設立総会は、まちづくりに向けた大きな第一歩です。まだまだ先は長い道のりになるかもしれませんが、市としても皆様とともにスピード感をもち学研高山地区第2工区のまちづくりを具体化します。



## 講演「次世代につなぐ進化するまちづくり」

立命館大学上席研究員 村橋 正武氏

学研高山地区第2工区では、都市部へのアクセスとなる163号バイパスの整備が進んでおり、隣接する奈良先端大は若い世代や技術が集まる磁力にもなっています。また高山地区の自然空間は市街地の近くという立地であり自然と文化が共生する暮らしを実現できるポテンシャルがあります。このような特色あるまちづくりは、今後長きにわたり未来の子どもたちの財産をつくっていくという事にもなります。



今後、こうしたまちづくりを実現するためには、段階的なまちづくりが重要となります。一気に開発を進めると同じ世代が集まってしまいますが段階的にすることで様々な世代が共存し、まちの代謝を生むことにもつながります。段階的なまちづくりの取り組みには、地権者と事業者と行政の3方向の連携と合意形成が必須です。自分の利益のためだけでなく、皆の利益のために尽くそうという考え方をもち地権者や行政が力を合わせて取り組んでいくことで次世代の子どもたちの財産として、市民の皆様がいつまでも愛されるまちを残していくことにつながっていくと考えています。



## ～ 事務局から皆さんへ ～

### △ お 願 い △

次のような場合は、下記事務局までご一報いただきますようお願いいたします。

- ・土地の売買や相続等による権利変動が生じた場合
- ・お引越しによる住所変更など連絡先に変更が生じた場合
- ・婚姻などにより氏名等に変更が生じた場合

### ◎ 加入者募集中 ◎

現在も引き続きまちづくり協議会への加入を募っておりますので事務局までご連絡ください。

まちづくり協議会の詳細につきましては下記 URL をご覧ください。

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000032555.html>

発 行：学研高山地区南エリアまちづくり協議会  
事務局：生駒市都市整備部拠点形成課学研推進室内  
電 話：0743-74-1111(内線 3860)FAX：0743-74-9100  
E-mail：[gakken@city.ikoma.lg.jp](mailto:gakken@city.ikoma.lg.jp)